

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

音楽（一般）

富士地区教科用図書採択連絡協議会
富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
17 教育出版	中学音楽 音楽のおくりもの	1～3年
27 教育芸術社	中学生の音楽	1～3年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるように、どのような工夫がされているか。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるために、どのような工夫がされているか。
- (3) 音楽に対する感性を豊かにし、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度や音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容として工夫されているか。
- (4) 教科横断的な視点を踏まえた内容が取り上げられているか。

2 組織・配列・分量

- (1) 表現及び鑑賞の活動がバランスよく配置され、多様な音楽活動が無理なくできるよう、系統的・発展的に組織されているか。
- (2) 生徒が思考・判断し、主体的な音楽活動に取り組めるような工夫がされているか。
- (3) 豊かな情操を培う視点から、季節や日常生活との関連を図るよう考慮して配列されているか。

3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) 生徒の発達の段階や生活体験、興味・関心に応じるために、多様な学習活動が進められるよう工夫されているか。
- (2) 楽譜、写真、挿絵、図表、色彩、文字の表記等について、発達段階に応じて適切で分かりやすくなっており、学習意欲を高めるものになっているか。

別紙様式 2

種目名	音 楽 (一般)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
17 教出	中学音楽 音楽の おくりもの 1 2・3上 2・3下	<p><内容></p> <p>(1) 「Let' t Try!」では、日本の唄歌を歌う教材やインドネシアのケチャをリズムアンサンブルする活動を行うことで、様々な音楽文化に触れ、その多様性を感じ取ったり理解したりすることができるような活動ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 曲のイメージ写真等、資料が美しいビジュアルで大きく掲載されており、鑑賞分野において、曲想に迫る手掛かりとなるよう工夫されている。また、「まなびリンク」から、思考を手助けするワークシートをダウンロードできるため、生徒が学習目標に向けて主体的に取り組むことができる工夫されている。</p> <p>(3) 日本や諸外国の音楽の中から、様々な時代や曲種のもものが数多く取り扱われており、幅広い知識や豊かな情操を育むことができるよう工夫されている。</p> <p>(4) 掲載曲が多く、器楽や歴史など、関連事項の掲載も含んでいるため、教科横断的で多様な授業展開ができるよう工夫がされている。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 歌唱分野では、後世に伝えたい「日本の歌 みんなのうた」や、歌のアルバムには多くの合唱曲など、様々な教材が取り扱われている。また、「音のスケッチ」の言葉の抑揚と旋律やリズムを関わらせながら、創作について3年間継続的に学ぶことができるよう工夫されている。創作で用いる教材に「平調子」を組み込むなど、器楽や鑑賞など、幅広い分野と関連付けながら学ぶことができるようなワークシートが教科書に掲載されている。鑑賞分野では、生徒が音楽を形作っている要素の中でも難易度が高い「構成」「形式」が理解できるよう、3年間を通してバランスよく教材が配置されており、理解が深まるよう詳細な資料が掲載されていることで、無理なく力が身につくよう工夫されている。</p> <p>(2) 「Let' s Try!」の「指揮をしてみよう」では、基本的な指揮の仕方を、イラストで動きを伴って示すことでわかりやすくするだけでなく、「学びリンク」という二次元コードから指揮</p>

		<p>者が曲に合わせて実際に指揮をする動画を視聴することで、生徒が動画を真似て指揮の練習をすることができるよう工夫されている。また、1年生で学んだ基本的指揮法を、2・3下では合唱曲の歌詞と曲想を分析し、音楽の特徴と関わらせながら指揮を振ることができるよう、発展的に組織されている。</p> <p>(3) 「音のスケッチ」の2・3下では「CM ソングをつくろう」という教材があり、創作分野の学びの集大成として、創作の力を遺憾なく発揮できるものとなっている。この教材を通して、生活や社会の中に、学んだ力が生きることが生徒は実感し、音楽科において育成を目指す資質・能力の一つである「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」を育むことができるよう工夫されている。</p> <hr/> <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>(1) 発達段階に音域、長さ、歌詞が適合するよう配慮された教材を精選することで、段階的に技能の力を伸ばすことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 表紙が白地となっており、特別な支援を要する生徒にとって視覚的刺激を和らげるよう配慮がされている。また表紙の絵もかわいらしいキャラクターが楽器を持っており、表紙からも音楽への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。紙質も手触りが柔らかく、ユニバーサルデザインフォントを使用することで、特別な支援を要する生徒も落ち着いて授業に臨めるよう配慮されている。</p> <hr/> <p><総評></p> <p>「学習 MAP」や「学習の進め方」で、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容の進め方を具体的に明示しており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、鑑賞教材数が多く、多岐にわたる授業展開が期待できるよう工夫された教科書であると感じる。</p> <p>資料掲載量が多いことから、興味・関心に基づき、個別最適な学びを助け、発展的な知識をも幅広く学ぶことができるよう工夫されている。楽譜や資料を手掛かりに、音楽的な根拠に基づき、思いや意図を伝え合う中で学びを深めることができる生徒の姿が期待される。また、多種多様な体験を伴った授業展開を行うことができる創作教材も豊富なため、生徒が実感を伴いながら、多様な音楽文化について理解を深めていけるよう配慮されている教科書となっている。</p> <p>主体的で対話的な深い学びの充実を手助けする工夫が、多岐にわたりに行われている教科書といえる。</p>
--	--	---

別紙様式 2

種目名	音 楽 (一般)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
27 教芸	中学生の 音楽 1 2・3上 2・3下	<p><内容></p> <p>(1) 3年間を通して、自国の音楽だけでなく、多くの世界の音楽を取り扱っていることで、音楽の共通性や固有性を捉え、音楽の多様性について理解できるよう工夫されている。また、「学びのコンパス」を用いて、楽曲にふさわしい音楽表現に必要な技能が、発展的に身に付けることができるよう、学年ごと、段階的に教材を選択されているのでわかりやすい。</p> <p>(2) 「学びのコンパス」の中に、「聴き比べよう」というコーナーがあり、複数の音楽の共通性や固有性について考える活動へ導くことができる工夫がされている。また、ペア活動で聴き取った音楽の良さを伝え合う活動が示されており、仲間と音楽を評価しながら良さを共有することができる。</p> <p>(3) 巻頭の「音楽ってなんだろう」「メッセージ」の中で、著名な芸術家など生徒が憧れるであろう人物が、中学時代のことを振り返りながら、音楽を学ぶ意味や音楽の素晴らしさを語る動画を二次元コードから視聴することで、生徒が音楽を「何のために学ぶのか」という教科を学ぶ意義を考える工夫がされている。</p> <p>(4) スメタナやムソルグスキーなど、国民楽派の作曲家の曲を取り上げることや、2・3下巻末に「耳でたどる音楽史」があることによって、歴史や文化が音楽に与える影響を教科横断的な視点で学ぶ工夫がされている。また、「心通う合唱」では、他者を尊重することや友情の大切さを実感することができるような教材を取り上げることや、道徳的観点からも生徒を育てることができるよう配慮されている。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1) 歌唱分野では、後世に伝えたい「心の歌」や「歌い継ごう日本の歌」、ロックバンドの曲やカンツォーネなど、あらゆるジャンルの歌がバランスよく扱われている。また、創作分野では、「My Melody」「Let's Create!」を通して三年間で子供の発達に応じて難易度が上げながら、無理なく力が身につくよう配置されている。鑑賞分野では身近な映画音楽からイメージと音楽を形作っている要素を関わらせながら、次第に文化や歴史と関わらせながら発展的に鑑賞の力を伸ばすことができるよう工夫されている。また、発展的な学習には「深めよう!」という吹き出しが書かれるなど、授業展開を生徒の実態に応じて、個別最適に組むことができる工夫もされている。</p>

	<p>掲載されている情報や資料が精選されており、限られた時数の中でバランスよく多様な音楽活動を行うことができ、生徒が学びを主体的に追及し、教員が授業展開を工夫する余白が感じられる点が非常に良い。</p> <p>(2) 「学びのコンパス」を用いて、主体的・対話的な学びを引き出し、身に付けたい力に迫れるようになっている。学習手順に番号が付いていることや、補助的な発問や考える観点をキャラクターが吹き出しで示すことで、主体的・対話的な学びを軸に、生徒が身に付けたい力にぶれずに迫ることができるよう工夫されているのが非常に良い。</p> <p>(3) 「生活や社会の中の音や音楽」では、音楽の素材としての音が日常にあふれていること、音楽が社会にどのように貢献しているのかなど、音や音楽の大切さを実感することができ、「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」を育むことができるよう工夫されている。</p>
	<p><児童の発達段階への配慮(表現)></p> <p>(1) 多くの歌唱曲や資料・鑑賞曲にタブレットで読み取ることができる二次元コードがついており、生徒の興味・関心に応じてより多くの資料を閲覧することができるよう、個別最適な学びを手助けする工夫がされている点が非常に良い。</p> <p>(2) 表紙が白地となっており、特別な支援を要する生徒にとって視覚的刺激を和らげるよう配慮がされている。表紙の絵も、動きが感じられ、紙質も光沢があり、楽しく授業を受けたいと生徒が感じることができるよう工夫されている。また、歌唱・創作・鑑賞の分野ごとに、ページが色分けされ、関連度を濃淡で表されていることで、各領域や分野の関連を図ることができるよう工夫されている。</p>
	<p><総評></p> <p>学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示したページが目次のあとにあることにより、1年間の学びを俯瞰し、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている点が素晴らしい。背景を白地にすることで視認性を高めるなどインクルーシブ教育を意識しており、全ての生徒が学習にスムーズに取り組むことができるような工夫がみられる。</p> <p>多くの資料を二次元コードからの閲覧・視聴とし、教科書に掲載する内容を精選することにより、生徒が学習目標に向かって主体的に学びを深めることができるものになっている。また、二次元コードから閲覧、視聴できる資料も非常に豊富で、タブレットで生徒が興味関心に沿って閲覧・視聴することによって、個別最適な学びの一層の充実が図れるよう工夫されている点は非常に評価することができる。取り扱う教材も多様で、ワークシートにも思考力・判断力・表現力を深める多くの工夫がされていることから、富士地区の生徒の実態に非常に合っており、富士地区の推進する教育や学習形態を後押しすることのできる教科書であると言える。</p>